中1 歴史 古代 一問一答（20問）　版H

なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　日づけ：＿＿＿＿＿＿

問いの答えを、右の欄に書きましょう。

(1) 中国の殷で、亀の甲や牛の骨に刻まれた、漢字のもとになった文字を何というか	
(2) インダス川の流域におこり、モヘンジョ・ダロなどの都市の遺跡で知られる文明を何というか	
(3) 今から700万～600万年ほど前にアフリカに現れた、最も古い人類を何というか	
(4) 縄文時代の人々が食べた貝のからや魚の骨などを捨てた場所を何というか	
(5) 銅剣・銅矛・銅鐸など、弥生時代に主に祭りの道具として使われた金属器を何というか	
(6) 群馬県にあり、相沢忠洋が石器を発見して日本に旧石器時代があったことを明らかにした遺跡を何というか	
(7) 石を打ち欠いてつくった、旧石器時代の石器を何というか	
(8) 佐賀県にある、物見やぐらや二重の堀をもつ、弥生時代の大きな環濠集落の遺跡を何というか	
(9) 古墳の上や周りに並べられた、人や馬、家などの形をした土製の焼き物を何というか	
(10) 推古天皇のもとで政治を行い、冠位十二階や十七条の憲法を定めた人物はだれか	
(11) 古墳時代に朝鮮半島などから日本に移り住み、漢字や須恵器などの技術を伝えた人々を何というか	
(12) 645年に蘇我氏をたおして改革を始め、のちに天皇となった皇子はだれか	
(13) 720年に完成した、国の歴史を年代順に漢文で記した歴史書を何というか	
(14) 奈良時代に、戸籍にもとづいて6歳以上の男女に与えられた田を何というか	
(15) 聖武天皇のころに栄えた、唐の影響を強く受けた国際的な仏教文化を何というか	
(16) 743年に出された、新しく開墾した土地を永久に私有してよいと認めた法令を何というか	
(17) 藤原頼通が宇治に建てた、阿弥陀如来像を安置する阿弥陀堂を何というか	
(18) 唐から帰国後、比叡山に延暦寺を建てて天台宗を開いた僧はだれか	
(19) 10世紀初めに、紀貫之らが天皇の命令でまとめた和歌集を何というか	
(20) 平治の乱に勝利し、武士として初めて太政大臣となって日宋貿易を進めた人物はだれか	

中1 歴史 古代 一問一答（20問）　版Hの答え

※ 漢字でもひらがなでも正解です。答えの下の（　）内の言い方でも正解です。

問いの答えを、右の欄に書きましょう。

(1) 中国の殷で、亀の甲や牛の骨に刻まれた、漢字のもとになった文字を何というか	甲骨文字
(2) インダス川の流域におこり、モヘンジョ・ダロなどの都市の遺跡で知られる文明を何というか	インダス文明
(3) 今から700万～600万年ほど前にアフリカに現れた、最も古い人類を何というか	猿人
(4) 縄文時代の人々が食べた貝のからや魚の骨などを捨てた場所を何というか	貝塚
(5) 銅剣・銅矛・銅鐸など、弥生時代に主に祭りの道具として使われた金属器を何というか	青銅器
(6) 群馬県にあり、相沢忠洋が石器を発見して日本に旧石器時代があったことを明らかにした遺跡を何というか	岩宿遺跡
(7) 石を打ち欠いてつくった、旧石器時代の石器を何というか	打製石器
(8) 佐賀県にある、物見やぐらや二重の堀をもつ、弥生時代の大きな環濠集落の遺跡を何というか	吉野ヶ里遺跡 （吉野ケ里遺跡 でも正解）
(9) 古墳の上や周りに並べられた、人や馬、家などの形をした土製の焼き物を何というか	埴輪 （はにわ でも正解）
(10) 推古天皇のもとで政治を行い、冠位十二階や十七条の憲法を定めた人物はだれか	聖徳太子 （厩戸皇子・厩戸王 でも正解）
(11) 古墳時代に朝鮮半島などから日本に移り住み、漢字や須恵器などの技術を伝えた人々を何というか	渡来人
(12) 645年に蘇我氏をたおして改革を始め、のちに天皇となった皇子はだれか	中大兄皇子 （天智天皇 でも正解）
(13) 720年に完成した、国の歴史を年代順に漢文で記した歴史書を何というか	日本書紀
(14) 奈良時代に、戸籍にもとづいて6歳以上の男女に与えられた田を何というか	口分田
(15) 聖武天皇のころに栄えた、唐の影響を強く受けた国際的な仏教文化を何というか	天平文化
(16) 743年に出された、新しく開墾した土地を永久に私有してよいと認めた法令を何というか	墾田永年私財法
(17) 藤原頼通が宇治に建てた、阿弥陀如来像を安置する阿弥陀堂を何というか	平等院鳳凰堂 （鳳凰堂・平等院 でも正解）
(18) 唐から帰国後、比叡山に延暦寺を建てて天台宗を開いた僧はだれか	最澄 （伝教大師 でも正解）
(19) 10世紀初めに、紀貫之らが天皇の命令でまとめた和歌集を何というか	古今和歌集
(20) 平治の乱に勝利し、武士として初めて太政大臣となって日宋貿易を進めた人物はだれか	平清盛